

卒園式祝辞 未来へのメッセージ

本日は、卒園式に来園頂きありがとうございます。

まず、ひまわり組の皆さん、ご卒園おめでとうございます。

そして、保護者の皆様、今日この日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、ひまわり組の皆さん園長先生から最後の話しをしたいと思います。

アメリカでは、小学校に入学する前に、「マシュマロテスト」をしています。

教室で一人になり、椅子に座りテーブルの上にマシュマロ1つ置かれます。

先生がいいよというまで、マシュマロを食べなければ、もう一つマシュマロをもらえます。

マシュマロテストに合格すると、バッチがもらえます。

自分の食べたい気持ちをどれだけ「待つ」ことができるか？のテストです。

人生において、学校のテストが出来るよりも、どれだけ「待つ」ことができるかによって、人生の生き抜く力が決まります。

では、マシュマロテストとは何か？これは、ルールを守ることです。

これから、時間、学校、社会のルールを身に着けることです。

時間のルール、学校のルール、社会のルールは難しいです。

ルールを守り、ルールを破らず「待つ」ことが出来れば、人生を生き抜くことができます。

優秀さは、今の成績では決まらない。人生のどこかで開花する。

アメリカのスタンフォード大学で研究され、証明されていることの一つです。

ひまわり組の皆さん、たくさんのルールがある中で、園長先生から「ヒント」があります。

それは、1日のスタートとゴールを決めることです。

1日のスタートは何ですか？1日のゴールは何ですか？

1日のスタートはランドセルを背負うことです。そこで、1日のスイッチが押されます。

1日のゴールはランドセルを下ろすことです。毎日同じ事を繰り返します。

いや、それは違うよと言う人もいます。1日は24時間です。

それから、小学校に行くと、勉強が始まります。なぜ、勉強するのでしょうか？

それは、自分の「命」を守り、自分の「力」で暮らせるようになるためです。

では、どうしたら勉強ができるようになるか？

一つわかっていることは、早い時期から勉強をする代わりに、遊びや家庭のしつけを通して「忍耐力」「集中力」「我慢する力」などを身につけてきた子どもに学力で逆転され、さらには差をつけられてしまうことさえあります。

卒園式祝辞 未来へのメッセージ

これは決して幼児期だけの問題ではなく、小学生であろうと中学生や高校生であろうと、非認知能力を高めないとなかなか勉強ができるようにはならないとわかっています。

皆さんは、「どんな夢がありますか？」その夢を叶える第一歩が小学校での勉強です。

小学校の勉強がスタートします。スタートすると、必ずゴールがあります。

1 ページから、スタートすることも大切ですが、9 ページのゴールを知ることがもっと大切です。

小学6年生には、どんな仕事をしたいのか見えてくるはずです。

スタートとゴールを決めるのも、変えるのも皆さんです。

ただし、スタートとゴールが出来ないこともあります。

もっとも、「出来る」と「一度で出来る」は同じではありません。

「学校」と「家」は同じではありません。

黒板の前で出来なかったことが、家では出来たかもしれません。

そこで必要になるのが、「ゴール」をどうするのか？

小学校の「ゴール」そして、人としての「ゴール」をどうするのか？

とても難しいことですが、「ゴール」が決まっていれば、何をすればいいのかわかりやすくなります。

もう一つは、「スタート」する前の気持ちを忘れないことです。気持ちが冷め切ってしまうと「ゴール」を見失います。「ゴール」するまで、頑張ろうと決めた気持ちを保ち続けることが大事になります。

皆さんは、卒園式を迎え、保育園を「ゴール」します。

There is nothing like a dream to create the future.

『夢ほど未来を作り出すものはない』

「レ・ミゼラブル」の著者、ヴィクトル・ユーゴー子爵（ししゃく）の言葉です。

園長先生が学んだことの「答え」はスタートとゴールを繰り返し続けることです。

それが、人生をもっとも豊かにすると信じています。

ただし、人生は時間が限られています。少しでも早くスタートしゴールの回数を増やすことです。

小学校にいて、自分らしい「ルール」でスタート出来ることを期待しています。

結びに、保護者の皆様、無事卒園を迎えることができたのも、たくさんの支えと、たくさんのヒントを頂けたからです。これからも、卒園児を応援し続けます。何かあればいつでも声をかけて頂けたら幸いです。

本日のご卒園、誠にありがとうございました。

令和7年3月1日

光田寺保育園

園長 福士 敬博